

00789

# 鳥取縣公報

第九百九十三號

昭和十四年一月十日 火曜日

## 告示

◆鳥取縣告示第一號

昭和十三年水害復舊耕地事業補助規程左ノ通定ム

昭和十四年一月十日

鳥取縣知事

立

田

清

辰

昭和十三年水害復舊耕地事業補助規程

第一條 昭和十三年ノ水害ニ因リ荒廢セル耕地及耕地ニ關スル公共施設（道路、水路、井堰、溜池等）ヲ昭和十三年度ヨリ昭和十六年度迄ニ於テ復舊セントスルモノニ對シ本規程ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ補助金ヲ交付ス

第二條 補助金ハ左ノ區分ニ依リ之ヲ交付ス但シ事業ノ爲支出シタル費用ニシテ他ノ團體又ハ個人ヨリ補助金、獎勵金又ハ寄附金等ヲ受ケタルモノニ對シテハ補助金ヲ交付セズ

耕 地

事業費ノ三分ノ一

鳥取縣公報

每週火曜日發行（休日ニ當ル）（昭和十四年一月十日）

第九百九十三號（昭和四年四月十五日）

第三種郵便物認可

00730

第三條 補助金ノ交付ヲ受ケントスルモノハ第一號様式ノ願書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ前年度ノ  
三月末日迄ニ出願スベシ但シ昭和十三年度ニ在リテハ昭和十四年二月末日迄トス

## 一 設計書

### 二 事業費年度割豫算書

三 公共施設事業ニシテ許可又ハ認可ヲ要スルモノニアリテハ其ノ許可又ハ認可書寫

法人ニ係ルモノハ當該事業ニ對スル收支豫算書ヲ添附スベシ

第四條 補助金ヲ交付スベキモノト認メタルトキハ條件ヲ定メ指令書ヲ交付ス

第五條 設計書又ハ事業費年度別豫算書ヲ變更セントスルトキハ理由ヲ具シ第二號様式ニ依リ知事ノ認可ヲ受クベシ

第六條 工事ヲ開始シ又ハ完了シタルトキハ遲滯ナク第三號様式ニ依リ之ヲ届出ヅベシ

第七條 補助金ノ交付ヲ受クルモノハ第四號様式ニ依リ申請シ工事ノ指導監督ヲ受クベシ

第八條 補助金ヲ請求セントスルトキハ年度終了後一箇月以内ニ事業成績書、收支決(精)算書ヲ添

ヘ第五號様式ニ依リ請求書ヲ提出スベシ

補助金ハ年度割事業費ノ三分ノ一以上竣工シタルトキハ分割請求ヲ爲スコトヲ得

第九條 補助金ハ實地検査ノ上之ヲ查定交付ス

第十條 補助金ノ交付ヲ受クルモノハ事務所ヲ設ケ事業ノ狀況費用ノ收支其ノ他事業ニ關スル事項ヲ明カニスベキ書類、帳簿ヲ備付クベシ

第十一條 補助金ノ交付ヲ受クルモノニ對シテハ當該官吏、吏員ヲシテ書類、會計物件若ハ、事ヲ

検査セシメ指導監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

工事検査ノ爲必要アリト認メタルトキハ工事ヲ取毀サシムルコトアルベシ此ノ場合ニ於テ其ノ部

00791

分ノ復舊費ハ事業者ニ於テ負擔スルモノトス

第十二條 左ノ各號ノ一一該當スルトキハ補助金交付ノ指令ヲ受ケシ又ハ既ニ交付シタル補助金ノ全部若ハ一部ヲ返還セシムルコトアルベシ

一本規程又ハ本規程ニ基キ發スル命令ニ違反シ其ノ他不正ノ行爲アリト認メタルトキ

二 工事ノ出來形不完全若ハ工事ノ停止廢止等竣工ノ見込ナシト認メタルトキ

三 詐欺ノ手段ヲ以テ補助金ノ交付ヲ受ケタルトキ

第十三條 本規程ニ依リ提出スル書類ハ總テ其ノ工事施行地ニ屬スル市町村役場及臨時水災復興事務局耕地係派出所ヲ經由スベシ

第十四條 本規程ニ依ル事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十日ニ至ル一箇年トス

附

本規程ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

第一號様式

昭和十三年水害復舊耕地事業補助願

別紙設計書記載ノ事業ヲ施行致度候ニ付御補助相成度水害復舊耕地事業補助規程ニ依リ此段相願候

也

年 月 日

住 所

氏 名 印

知

## 第二號樣式

昭和十三年水害復舊耕地事業設計書（事業費年度割豫算書）變更認可申請  
 算書別紙理由ニ依リ變更致度候條御認可相成度關係書類添附此段及申請候也

年 月 日

住 所

事 業 宛

## 第三號樣式

昭和十三年水害復舊耕地事業開始（完了）届

昭和 年 月 日 鳥取縣受耕第 號補助指令ニ基ク設計書（事業費年度割豫

日開始（完了）致候條此段御届候也

年 月 日

住 所

事 業 宛

## 第四號樣式

昭和十三年水害復舊耕地事業指導監督申請

住 所 氏 名 印

事 業 宛 氏 名 印

住 所 氏 名 印

事 業 宛 氏 名 印

00793

00792

一 工事施行位置  
 二 工事ノ種別  
 三 希望ノ時期  
 四 何々  
 右工事指導監督相受度候條係官御派遣相成度此段及申請候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

## 第五號樣式

昭和十三年水害復舊耕地事業補助金請求書（第一回）

住 所 圓也

姓昭和

年 月

年度事業ノ爲支出シタル金額耕地 圓 二對スル 三分ノ一  
 公共施設 圓 五分ノ二  
 昭和 年 月 日 鳥取縣受耕第 號補助指令ニ基ク補助金御交付相成  
 度事業成績書及收支決（精）算書添附此段請求候也

年 月 日

住 所

氏

名 印

## 事業成績書

00794

昭和 年度(自昭和年月 日) 事業成績書

工種

復舊豫定

前年度迄了

本年度了

終了

豫定期

備考

考

耕地地

町步

町步

町步

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

道路

間

間

間

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

水路

間

間

間

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

溜池

ヶ所

步合

步合

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

井堰

ヶ所

步合

步合

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

其他

ヶ所

歩合

歩合

昭和年月日

昭和年月日

昭和年月日

考

備考

一 耕地ニ在リテハ開田開畠ニ區別スルコト  
二 工事施行後ノ土地利用状況ヲ末尾ニ詳細記入ノコト  
三 豫定ノ數量ヲ終了セザリシモノニ付テハ其ノ事由ヲ備考欄ニ記入ノコト

收支決(精)算書

昭和 年度(自昭和年月日) 收支決(精)算書

日 收支決(精)算書

考

00795

備考

補助金、獎勵金、寄附金、雜收入等ハ附記欄ニ詳細説明ノコト  
支出ノ附記欄ニハ本年度支出事業費ノ内訳ヲ記載ノコト

科 目	復舊設計		當初支入額	度迄收入額	本年收入額	入年額度	附	殘額	附記
	豫算總額	前年度迄迄支業費額							

備考

◆鳥取縣告示第二號

支出ノ附記欄ニハ本年度支出事業費ノ内訳ヲ記載ノコト

南勝線鐵道線路測量ノ爲左記ノ通土地立入測量スペキ旨鐵道省米子建設事務所長ヨリ通知アリタリ

昭和十四年一月十日

00796

一 起 業 者

鳥取縣知事

立 田 清 辰

一 事 業 種 類

鐵 道 布 設

一 立 入 區 域

東伯郡南谷村、山守村、矢送村

一 立 入 期 間

自昭和十四年一月一日

至 同年十二月卅一日

◆鳥取縣告示第三號

昭和十三年十二月七日鳥取縣告示第七百二十三號昭和十四年度海軍志願兵徵募檢查日時場所及檢查區ヲ左ノ通一部變更セラル

昭和十四年一月十日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

二月十二日

正條ヲ鳥取ニ變更

二月十四日

鳥取ヲ正條ニ變更

◆鳥取縣告示第四號

昭和十四年一月十日左記ノ者ニ對シ動力穀摺業免許證ヲ下付セリ

昭和十四年一月十日

鳥取縣知事

立 田 清 辰

免 許 證 番 號

杉 本 勝 治

一 一 八 五

廣 田 友 藏

東伯郡旭村大字柿谷一〇〇一一番地

福 谷 銀 水

一 一 八 六

上 定 治

東伯郡灘手村大字尾原二五三番一地

杉 本 勝 治

一 一 八 七

上 小 鳴 耳 原 健 蔡

米子市上後藤二一四番地

中 豊 田 照 義

一 一 八 八

吉 東 田 照 義

鑑 札 番 號	取 扱 家 畜	申 請 者
第四 九 號	家 兔	郡 市 町 村 大 字 氏 名
第五 ○ 號	家 兔	東 伯 上 小 鳴 耳 原 健 蔡
第五 一 號	羊 豚、家兔	國 府 田 中 清 六
第五 二 號	家 兔	倉 吉 豊 田 照 義
	同	上 小 鳴 河 內 内 田 照 義
	上 小 鳴	鴨 河 內 内 田 照 義

◆鳥取縣告示第五號

左記ノ者ニ對シ十二月二十八日付羊豚家兔商免許鑑札ヲ下付セリ

昭和十四年一月十日

鳥取縣知事 立 田 清 辰

◆鳥取縣告示第六號

左記ノ者ニ對シ十二月二十四日付ヲ以テ羊豚家兔商免許鑑札ヲ下付セリ

昭和十四年一月十日

00798

鑑札番號	取扱家畜	住所	鳥取縣知事	立	田	清	辰	名
第四七號	豚、家兔	東伯橋津德島勝治	同由良大谷德本專一	同上	小鴨目笠原秀義	同	同	同
第四六號	豚	東伯橋津德島勝治	同由良大谷德本專一	同上	小鴨目笠原秀義	同	同	同
◆鳥取縣告示第七號	氣高郡神戸村中砂見第二耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	鳥取縣知事	立	田	清	辰	
◆鳥取縣告示第八號	氣高郡寶木村第二耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	同郡同村大字同組合副長	湯尾清太郎	久平	久平	久平	
◆鳥取縣告示第九號	氣高郡寶木村第二耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	鳥取縣知事	立田	田	清	辰	
◆鳥取縣告示第十號	東伯郡小鴨村耕地整理組合長同副長左ノ通選任ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	鳥取縣知事	立田	田	清	辰	
◆鳥取縣告示第十一號	東伯郡東鄉村大字田畠	昭和十四年一月十日	同郡同村大字福守組合長	令長谷川壽夫	同	同	同	
◆鳥取縣告示第十二號	氣高郡寶木村耕地整理組合設計書變更ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	同副長小林文藏	益田傳吉	同	同	同	
◆鳥取縣告示第十三號	氣高郡寶木村耕地整理組合設計書變更ノ件認可セリ	昭和十四年一月十日	同副長小林文藏	益田傳吉	同	同	同	
◆鳥取縣告示第十四號	昭和十三年十二月產婆名簿ニ登録セシ者左ノ如シ	昭和十四年一月十日	鳥取縣知事	立田	田	清	辰	
◆鳥取縣告示第十五號	昭和十四年一月十日	鳥取縣知事	立	田	清	辰		

00799

氣高郡寶木村大字常松	同郡同村大字奥澤見	同郡同村大字田畠	東伯郡東鄉村大字田畠	東伯郡小鴨村大字福守	鳥取縣告示第十一號	鳥取縣告示第十二號	鳥取縣告示第十三號	鳥取縣告示第十四號
組合長	組合長	組合長	組合長	組合長	立	立	立	立
令長	令長	令長	令長	令長	立	立	立	立
谷	谷	谷	谷	谷	田	田	田	田
川	川	川	川	川	田	田	田	田
壽	壽	壽	壽	壽	清	清	清	清
夫	夫	夫	夫	夫	辰	辰	辰	辰

00800  
本籍 鳥取縣西伯郡幡鄉村大字諸木七六番地  
住所 同縣米子市中町二八番地  
昭和十三年十二月二十一日  
第八〇四號登錄

稻田信太郎方  
岩 田 ふ サ エ  
明治四十年十一月十六日生

◆鳥取縣告示第十二號  
昭和十三年十二月產婆名簿ニ登錄並產婆名簿登錄事項ノ訂正セシ者左ノ如シ  
昭和十四年一月十日

本籍 鳥取縣東伯郡筭村大上種二二〇番地  
住所 同 上

鳥取縣知事 立 田 清 辰  
昭和十三年十二月二十六日  
第八〇五號登錄

村岡 定子  
大正四年十二月二十一日生  
野島たけの  
大西しづ江

住所 鳥取縣東伯郡古布庄村大字三本杉一一二九番地

昭和十三年十二月十五日前住所並開業地變更產婆名簿登錄事項訂正方  
出願ニ對シ同年十二月二十六日訂正

住 所 鳥取縣東伯郡倉吉町新町一丁目二四六二番地一  
市街地建築物法第七條但書ニ依リ左ノ通建築線ヲ指定セリ  
昭和十四年一月十日  
訂正方出願ニ對シ同年十二月二十六日訂正

明治四十五年二月十七日生

◆鳥取縣告示第十三號  
市街地建築物法第七條但書ニ依リ左ノ通建築線ヲ指定セリ

昭和十四年一月十日

鳥取縣知事

立 田 清 辰  
野 島 た け の  
坂 本 基 太 郎  
鳥取市吉方三九〇番地

一指定期場所  
一建築線指定申請人  
住所 氏名

鳥取市栗谷町

宅 地 六一一番地ノ一一

坂 本 基 太 郎

六一一番地ノ一〇

林 六一一番地ノ九

六一一番地ノ一二

00802

一 建築線ノ延長距離  
一 建築線間ノ距離  
一 左記圖面ノ通り

豪 報

三八、〇〇メートル  
三・〇〇メートル

六一番地ノ

烟

一 昭和十四年國內資金調查規則公布サル

一、昭和十三年十二月十日大藏省令第六十九號ヲ以テ「昭和十四年國內資金調查規則」ガ公布サレ左記該當ノモノハ夫々所定様式ノ資金計畫報告書ヲ十四年一月十五日迄ニ日本銀行本支店（鳥取縣下ハ同行松江支店）經由大藏大臣宛提出スルコト、ナツタ

一、前回ノ昭和十三年「國內資金調查規則」ニ於ケルト異リ、報告書ヲ提出スペキ範圍ガ非常ニ擴大サレテ、即チ前回ニ於テ報告書ヲ提出スペキモノハ資本金五十萬圓以上ノ會社トナツタキタガ此ガ今回二十萬圓以上ノ會社ト引下グラレ、又今回ヨリ新ニ資本金二十萬圓未滿ノ會社其他個人公共團體、組合ニテモ所要資金二十萬圓以上ノ計畫ヲ有スル場合ニハ總テ報告書ヲ出スペキコト、ナツタノハ注意ヲ要スル

一、資金計畫報告書ノ提出ヲ要スル場合ハ次ノ通りデアル

イ、先づ本報告ハ左記各種事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張、又ハ改良ニ付爲サルベキモノゾ商業ニ屬スル設備ノ如キニ關ンテハ報告ヲ要シナイ

採鑛業 土石採取業 紡織工業 金屬工業 機械器具工業 兵器及兵器部分品製造業 烟

化學工業 製材及木製品工業 印刷及製本業 食料品工業 電氣供給事業 瓦斯供給

事業 其他工業 水產業 交通業 倉庫業

ロ、資本金二十萬圓以上ノ會社ニシテ昭和十四年中ニ前掲事業ニ屬スル設備ノ新設、擴張、ハ改良ニ付所要資金五萬圓以上ノ計畫（昭和十三年以前ニ著手セルモノヲ含ム）ヲ有スル場合

ハ、資本金二十萬圓以上ノ會社ニシテ前掲事業ヲ營ムモノハ所要資金五萬圓以上ノ計畫ヲ有シナイ場合（全ク事業計畫ヲ有シナイ場合ヲ含ム）ニモ一應其ノ旨報告スルコトヲ要スル此場合ノ報告様式ハ別ニ定メラレテヰナイガ左記ノ程度ヲ記載シタル大藏大臣宛ノ文書ニ依ル

1、會社ノ住所商號及公稱資本金並拂込資本金額

2、代表者ノ氏名印

3、會社ノ目的トスル事業

4、所要資金五萬圓以上ノ事業設備ノ新設擴張又ハ改良ノ計畫ナキ旨ノ記載

ニ、前掲事業ヲ目的トシテ昭和十四年中ニ資本金二十萬圓以上ノ會社ヲ設立セントスル計畫ヲ有スル場合

ホ、資本金二十萬圓未滿ノ會社其他個人、公共團體、組合ニテモ前掲事業ニ付所要資金二十萬圓以上ノ計畫（昭和十三年以前ニ著手セルモノヲ含ム）ヲ有スル場合

ヘ、尚資本金二十萬圓以上ノ會社ニシテ昭和十四年中ニ關東州、滿洲國又ハ中華民國ニ投資セントスル計畫ヲ有スル場合此ノ場合ニハ會社ノ目的トスル事業ノ如何ヲ問ハナイ

一、本規則ニ該當スルト認メラル、向ハ規則參照ノ上昭和十四年一月十五日ノ期限ニ遲レザル様報告書ノ提出ヲ要スル

尙不審ノ點ハ日本銀行松江支店迄問合セアリ度イ

00804

一月十一日發行「週報」並三「寫眞週報」掲載內容左記ノ通

週報第百十七號掲載內容

一、新支那の外交問題  
 二、輸出振興と特殊保稅工場  
 三、時局とレコード  
 四、國際政局、回顧と展望  
 五、武漢子守唄  
 六、さやうなら印象記  
 七、日本の冬  
 八、小學生冬休み日記(東京)  
 九、ニューヨークの移動圖書館  
 十、海外通信  
 十一、讀者のカメラ

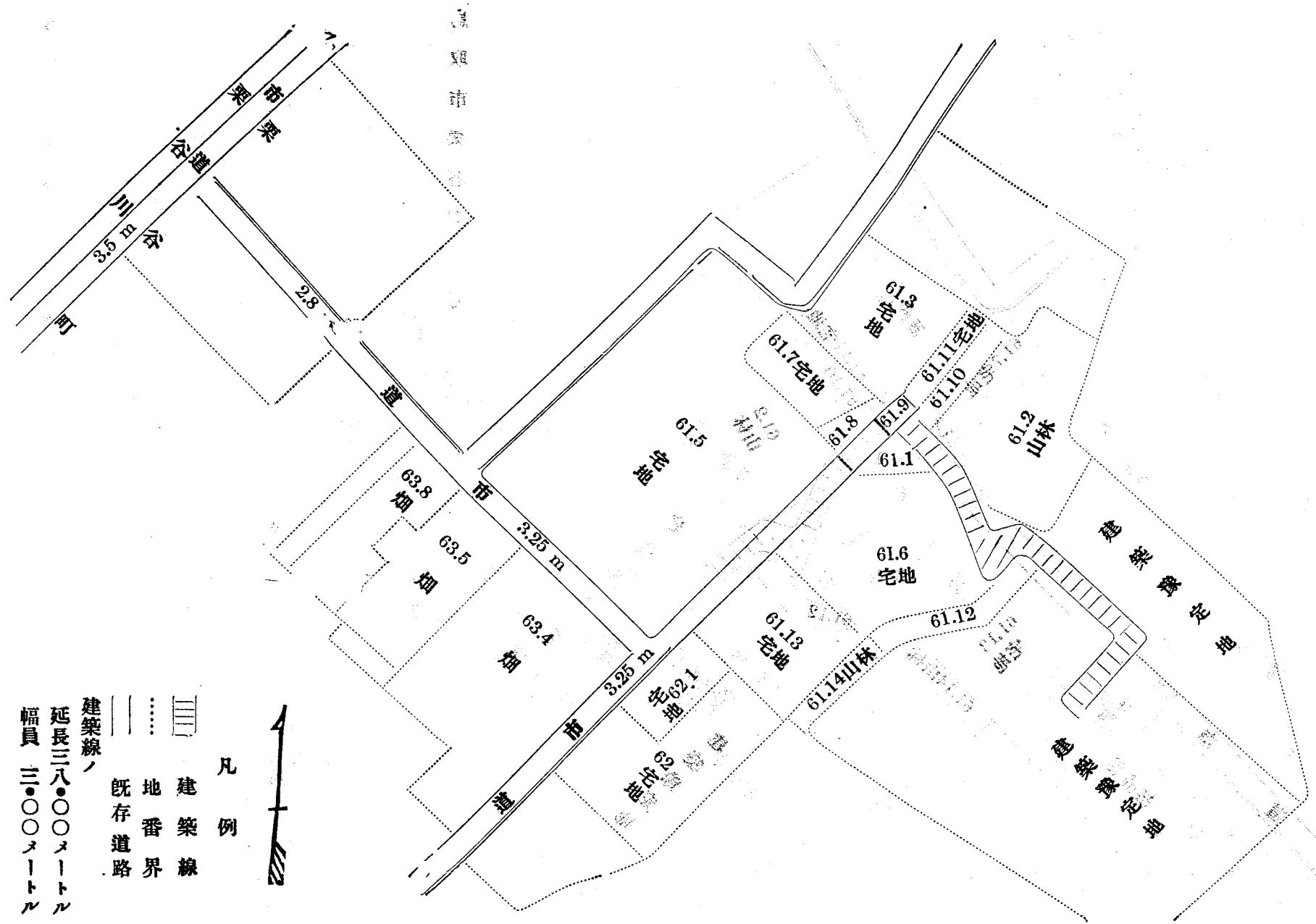
一寫眞週報第四十七號掲載內容  
 二、北京の初春 琉璃廠の市  
 三、外務省情報部  
 四、大蔵省  
 五、内務省  
 六、外務省情報部

昭和十四年一月十日印刷  
 昭和十四年一月十日發行

發行者 鳥取縣鳥取市東町  
 印刷所 鳥取縣氣高郡大正村  
 鳥取刑務所  
 大字古海  
 所

00805

## 鳥取市栗谷町 (縮尺六百分の一)



凡例  
 建築線  
 建築界  
 地番界  
 既存道路  
 幅員 延長三八〇〇メートル  
 三〇〇メートル